

25年度予算を可決

第1回定例会
で
決まりました

平成25年第1回定例会は3月5日から22日まで、会期18日間で開催されました。今回の定例会では、平成25年度予算、「瑞穂町新型インフルエンザ等対策本部条例」など、合わせて31件の町長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

今回の議会には、平成25年度一般会計・各特別会計の予算が提案されました。予算特別委員会での審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で、また、その他の特別会計については全会一致で可決しました。

町長が予算案を提出



石塚町長が予算案を説明

25年度の予算にあたり、町長からは、「歳入では、地価下落に伴う固定資産税の減収が見込まれる中、町税全体としては、収納率の更なる向上を目指すこと。歳出では、将来都市像「みらいに、ずっとほこれるまち」の実現を政策目標とし、すべての施策において、必要性や有効性を検証し、より効果的で効率的な行財政運営を心掛けるよう全職員を奨励する。」との説明がありました。

予算特別委員会で審査

町側からの提案を受けた議会では、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に石川修議員、副委員長に小野芳久議員を選出。議長を除く15名により、3日間にわたって審査を行い、議員からは延べ226件の質疑がありました。

本会議では、一般会計予算について、賛成・反対の討論が行われ、起立採決の結果、賛成14名、反対1名で可決しました。9件の特別会計については、すべて全会一致で可決しました。



予算特別委員会での審査の様子



起立採決の様子（本会議）

予算特別委員会質疑のピックアップを次ページ以降に掲載しております。

各会計の予算額

会計名	予算金額	前年度比
一般会計	144億9,190万0,000円	10.2%増
特別会計		
国民健康保険	39億6,309万2,000円	0.2%増
駅西土地区画整理事業	8億6,173万6,000円	0.7%増
下水道事業	9億3,422万8,000円	14.0%減
介護保険	19億3,729万7,000円	10.7%増
後期高齢者医療	5億 224万6,000円	4.7%増
殿ヶ谷財産区	425万8,000円	0.8%減
石畑財産区	2,025万7,000円	35.4%減
箱根ヶ崎財産区	651万1,000円	1.0%減
長岡財産区	67万0円	0.0%

おもな新規事業

- ・ 育児支援ヘルパー派遣
- ・ スポーツ祭東京2013開催
- ・ 資料館収蔵品資料台帳作成
- ・ 観光用ホームページ作成
- ・ 学習等供用施設耐震診断調査
- ・ 耐震診断改修費助成

おもな建設事業

- ・ (仮称) 高齢者憩いの場整備工事
- ・ 第一・第三小学校除湿温度保持機能復旧工事
- ・ 第二小学校校庭芝生化工事
- ・ (仮称) 新郷土資料館建設工事
- ・ (仮称) 新郷土資料館展示製作
- ・ スカイホール改修工事
- ・ 箱根ヶ崎駅東口広場整備工事

一般会計については、次のとおり賛成・反対の討論が行われました。(要約)

賛成

小野 芳久 議員

一般会計の歳入は、144億9,190万円である。財政状況は25年度も引き続き厳しい状況であるが、安定財源の確保を目的に町税などのコンビニエンスストア納付の実施、耐震改修促進計画を推進し、耐震診断費および簡易耐震改修費の助成、(仮称) 高齢者憩いの場の整備、役場旧庁舎部分の耐震診断の結果に基づき仮庁舎の整備など、「みらいに、ずっと、ほこれるまち」を目指し、住民サービスと将来を見据えた予算編成である。

反対

大坪 国広 議員

多摩地域で実施している介護保険料・サービス利用料の町独自の軽減策や在宅寝たきりの支援策を実施するべき。

少子化対策を重視し、子ども医療費完全無料化や児童館建設を検討するべき。また、子どもを貧困と格差から守る為に教材費・卒業アルバムへの補助を実施するべき。

栗原地区の区画整理は、新駅の見通しがつくまで「一時凍結するべき」であり、都道179号線の歩行者の安全対策を早急に進め実施するべきである。